

## (1) 協定の経過

戦前、根室市の一部(旧歯舞村)の歯舞諸島では、多くの漁民が昆布採取で生計を立てていたところでありました。なかでも貝殻島は昆布の好漁場でありました。

しかし、終戦後の昭和 20 年 11 月、納沙布岬と貝殻島間の瑤瑤瑠水道(幅 3.7km)に「マッカーサーライン」が引かれ、貝殻島周辺水域は事実上旧ソ連が支配することとなります。

当時は、納沙布岬を中心とする沿岸零細漁民のほとんどが昆布採取を生業としており、だ補の危険を冒して貝殻島に出漁しなければ、日々の生活を送ることはできないほどです。このため漁民は無理な操業を重ね、だ捕される漁船が相次ぐ状態が続いています。

この結果、貝殻島周辺での安全操業を求める声は年とともに広がり、当時の大日本水産会会長であった高碓達之助氏の尽力により、昭和 38 年 6 月 10 日、大日本水産会と旧ソ連国民経済会議付属漁業国家委員会との間に、異例の民間協定が締結されたのです。

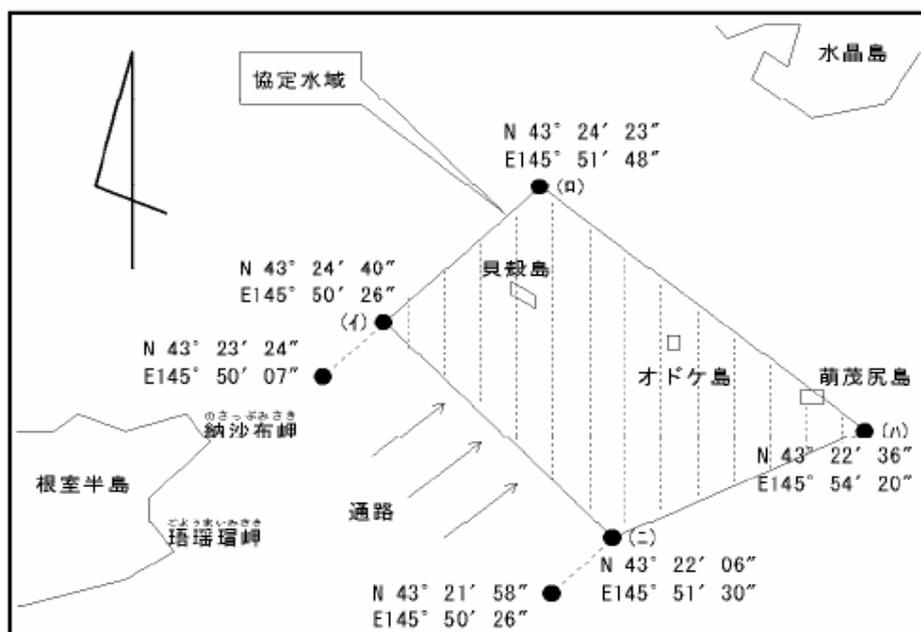
その後、この協定は 14 年間継続されましたが、昭和 52 年の 200 海里元年に交渉は中断し、この 4 年後、当時の北海道水産会会長であった川端元治氏や道水産会理事の金沢幸雄氏等の努力により、再び民間協定が北海道水産会と旧ソ連邦漁業省との間に締結されています。

また、昭和 62 年の交渉により、同水域において駆除のためウニ漁業が開始されていますが、初期の目的を達成したため平成 4 年度に終了しています。

近年では、交渉の長期化に伴う出漁の遅れなどによる生産量の減少やロシア側に支払う採取料の負担等で漁業者は厳しい経営を強いられており、操業隻数も年々減少し、平成 21 年に至ってはピーク時の約 35%減の 245 隻となり、極めて深刻な状況となっています。

現在、根室市はこうした状況を踏まえて、本漁業が日ロ双方の友好親善に寄与してきたこと、また今後も持続的な漁業として操業継続できるよう、採取料の縮減と交渉の早期合意をロシア側に強く求めています。

## (2) 日ロ貝殻島昆布採取協定操業水域図



### (3) 貝殻島昆布（ウニ）漁の推移

年次	コ ン ブ 漁				ウ ニ 漁			
	隻 数	採 取 料	水 揚 量	水 揚 金 額	隻 数	入 漁 料	水 揚 量	水 揚 金 額
38	300	3,600	1195	143,125				
39	300	3,600	1035	153,517				
40	300	3,600	668	129,143				
41	300	3,600	1049	198,154				
42	300	3,600	833	163,272				
43	300	3,600	473	102,142				
44	330	3,600	841	189,093				
45	330	3,600	466	186,984				
46	330	3,600	915	346,398				
47	330	3,600	1058	394,864				
48	330	3,600	982	457,920				
49	330	3,600	865	666,080				
50	330	17,160	854	586,321				
51	330	17,160	964	784,121				
※52年～55年交渉中断								
56	330	66,000	506	652,353				
57	330	66,000	1157	1,250,781				
58	375	75,000	551	667,280				
59	375	78,750	847	959,488				
60	375	91,350	927	610,373				
61	375	107,500	733	683,156				
62	375	110,500	1031	990,539	17	57,000	259	328,277
63	375	115,000	680	643,551	18	62,000	245	271,908
元	375	115,000	735	688,608	10	36,000	126	158,561
2	375	118,000	582	535,421	10	38,380	130	225,932
3	375	120,000	860	1,006,028	10	42,000	128	186,095
4	375	122,000	809	926,998	10	43,000	68	106,797
5	375	122,000	842	998,985				
6	375	124,000	455	591,179				
7	375	124,000	656	805,698				
8	375	124,000	362	479,286				
9	375	124,000	275	362,117				
10	375	124,000	487	608,958				
11	375	124,000	272	472,191				
12	375	124,000	571	666,114				
13	375	124,000	463	625,045				
14	375	124,000	737	658,007				
15	375	120,000	420	394,601				
16	375	122,000	681	547,149				
17	281	122,000	384	359,042				
18	259	73,200	316	356,761				
19	251	97,600	285	369,642				
20	249	85,400	247	366,169				
21	245	85,400	430	559,608				

※昭和 52 年から同 55 年までは交渉中断のもの